

北部地区医師会病院 医師労働時間短縮計画

計画期間 令和 6 年 4 月～令和 10 年 3 月

対象医師	外科医師（9 名）	内科医師（12 名）
	整形外科医師（4 名）	集中治療科医師（1 名）
	救急科医師（2 名）	麻酔開始（1 名）
	リウマチ科医師（1 名）	放射線科医師（2 名）
	検診科医師（3 名）	皮膚科医師（1 名）
	内分泌代謝科医師（1 名）	検査科医師（1 名）
	循環器内科医師（2 名）	心臓血管外科医師（2 名）
	研修医（4 名）	

1. 労働時間と組織管理（共通記載事項）

（1）労働時間数

外科医師（9 名）

年間の時間外・休日労働時間数	2024 年度実績	2025 年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	367.2	350	350
最長	795	700	600
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0	0	0
1,860 時間超の人数・割合	0	0	0

内科医師（12 名）

年間の時間外・休日労働時間数	2024 年度実績	2025 年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	359.4	350	350
最長	759.5	660	600
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0	0	0
1,860 時間超の人数・割合	0	0	0

整形外科医師（4名）

年間の時間外・休日労働時間数	2024 年度実績	2025 年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	268.9	260	260
最長	667	600	600
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0	0	0
1,860 時間超の人数・割合	0	0	0

集中治療科医師（1名）

年間の時間外・休日労働時間数	2024 年度実績	2025 年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	429	400	400
最長	429	400	400
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0	0	
1,860 時間超の人数・割合	0	0	

麻酔科医師（1名）

年間の時間外・休日労働時間数	2024 年度実績	2025 年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	433.5	400	400
最長	433.5	400	400
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0	0	0
1,860 時間超の人数・割合	0	0	0

救急科医師（2名）

年間の時間外・休日労働時間数	2024 年度実績	2025 年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	246.5	240	240
最長	522.5	450	400
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0	0	0
1,860 時間超の人数・割合	0	0	0

検診科医師（3名）

年間の時間外・休日労働時間数	2024 年度実績	2025 年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	0	0	0
最長	0	0	0
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0	0	0
1,860 時間超の人数・割合	0	0	0

皮膚科医師（1名）

年間の時間外・休日労働時間数	2024 年度実績	2025 年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	46	40	0
最長	46	40	0
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0	0	0
1,860 時間超の人数・割合	0	0	0

内分泌代謝科医師（1名）

年間の時間外・休日労働時間数	2024 年度実績	2025 年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	2.5	2	0
最長	2.5	2	0
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0	0	0
1,860 時間超の人数・割合	0	0	0

リウマチ科医師（1名）

年間の時間外・休日労働時間数	2024 年度実績	2025 年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	57.5	50	50
最長	57.5	50	50
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0	0	0
1,860 時間超の人数・割合	0	0	0

放射線科医師（2名）

年間の時間外・休日労働時間数	2024 年度実績	2025 年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	50.3	45	40
最長	57.5	50	50
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0	0	0
1,860 時間超の人数・割合	0	0	0

検査科医師（1名）

年間の時間外・休日労働時間数	2024 年度実績	2025 年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	0	0	0
最長	0	0	0
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0	0	0
1,860 時間超の人数・割合	0	0	0

心臓血管外科医師（2名）

年間の時間外・休日労働時間数	2024 年度実績	2025 年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	142	140	0
最長	237.5	200	0
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0	0	0
1,860 時間超の人数・割合	0	0	0

循環器内科医師（2名）

年間の時間外・休日労働時間数	2024 年度実績	2025 年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	486.8	450	400
最長	586.5	500	450
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0	0	0
1,860 時間超の人数・割合	0	0	0

研修医（4名）

年間の時間外・休日労働時間数	2024 年度実績	2025 年度目標	計画期間終了年度の目標
平均	187.8	180	180
最長	326.3	300	300
960 時間超～1,860 時間の人数・割合	0	0	0
1,860 時間超の人数・割合	0	0	0

（2）労務管理・健康管理

【労働時間管理方法】

2024 年度の実績	電子カルテ連動の勤怠管理システム（IC カード式）を導入
当年度の実績目標	・ 時間外労働時間の申請手続きの明確化・周知
計画期間終了年度の実績目標	上記事項に取り組む ・ 医師の自己申告等により副業・兼業先の労働時間を把握する仕組み構築

【宿日直許可の有無を踏まえた時間管理】

2024 年度の実績	HCU と循環器棟の労働基準法施行規則第 23 条の宿日直許可の取得手続きを行った。
当年度の実績目標	宿日直許可に基づき適切に取り組む
計画期間終了年度の実績目標	宿日直許可に基づき適切に取り組む

【医師の研鑽の労働時間該当性を明確化するための手続等】

2024 年度の実績	医師の研鑽における労働時間該当性に関する取扱い事項を策定し、医局会で周知した
当年度の実績目標	新入職者に対してもオリエンテーションで手続きを周知し適切に取り組む
計画期間終了年度の実績目標	手続きを周知し適切に取り組む

【労使の話し合い、36 協定の締結】

2024 年度の実績	労働基準法 36 条に定める方法で労働者代表を選定し、36 協定を締結し、イントラネットへ掲示した
当年度の実績目標	・ 36 協定を 1 年に 1 回、実態に即して見直しを実施
計画期間終了年度の実績目標	・ 36 協定を超えた時間外労働の発生が見込まれた場合には業務内容や協定内容の見直しを検討

【衛生委員会、産業医等の活用、面接指導の実施体制】

2024 年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 衛生委員会を月 1 回開催する。 ・ 定期健康診断および夜勤従事者検診を各年 1 回実施する。 ・ 有所見者と超過勤務者への健康相談を産業医・産業保健師により実施する。
当年度の実績目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 衛生委員会等で長時間労働の職員の対応状況の共有や対策等を検討する ・ 医師の健康診断の実施率を 100%とする（100%ではない場合に未受診の医師全員に受診を促す）
計画期間終了年度の実績目標	・ 面接指導の実施にあたり、産業医、面接指導実施医師のみではなく、他職種のサポートが可能な体制の構築

【追加的健康確保措置の実施】

2024 年度の実績	・ 定期健康診断および夜勤従事者検診終了後の有所見者への健康相談や労災二次検診の受診勧奨を実施
当年度の実績目標	・ 連続勤務時間制限、勤務間インターバル確保及び代償休息確保を可能とする勤務体制とし、対象医師への面接指導を漏れなく実施する
計画期間終了年度の実績目標	上記に取り組む

(3) 意識改革・啓発

【管理者マネジメント研修】

2024 年度の実績	<ul style="list-style-type: none">・ 厚労省が実施する医師の働き方改革への研修会に院長、人事課長、担当者が参加・ 医局会の場を利用して、医師の働き方改革の概要を説明した
当年度の実績目標	<ul style="list-style-type: none">・ 医師に対しては、勤怠管理や本人が理解すべき内容（始業・退勤時刻の申告、時間外労働の自己研鑽部分のルール確認、健康管理の重要性等）に関する研修を年 1 回開催し受講を促す
計画期間終了年度の実績目標	<ul style="list-style-type: none">・ 医療を受ける者やその家族等に対し、医師の働き方改革を進めていること、それにより、外来やホームページ等の場面で影響があることについて、理解を求める旨の掲示を行う

(4) 策定プロセス

月 1 回開催される衛生委員会で、時間外勤務時間の確認をしながら、各職種が参加する「横のつながり委員会」を開催し、負担軽減策の計画及び実施状況について話し合う。また、超過勤務時間 960H 以上の意思を個別に面談し、業務改善・宿日直への移行など話し合い、医局会で確認していく。

2. 労働時間短縮に向けた取組（項目ごとに任意の取組を記載）

（1）タスク・シフト／シェア

参考資料 別添 2-1 参照

【看護師】

計画 2024 年時点での取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定行為（38 行為 21 区分）の実施可能な看護師の育成（NP 1 名、救急パッケージ修了者 1 名、呼吸器疾患看護 B 課程修了看護師 1 名） ・ 血管造影・画像下治療（IVR）の介助 ・ 注射、採血、静脈路の確保等 ・ カテーテルの留置、抜去等の各種処置行為 ・ 診察前の情報収集
当年度の取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に取り決めたプロトコールに基づく薬剤の投与、採血・検査の実施 ・ 救急外来における医師の事前の指示や事前に取り決めたプロトコールに基づく採血・検査の実施 ・ 特定行為研修（外科系基本パッケージ）の研修施設として 4 名の研修を行う。
計画期間終了年度の取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同上 ・ 特定行為研修修了者を継続育成する

【薬剤師】

計画 2024 年時点での取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周術期の薬学的管理等 ・ 病棟等における薬学的管理等 ・ 事前に取り決めたプロトコールに沿って行う処方された薬剤の投与量の変更等 ・ 薬物療法に関する説明等 ・ 医師への処方提案等の処方支援
当年度の取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上記継続
計画期間終了年度の取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同上

【薬剤師】

計画 2024 年時点での取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周術期の薬学的管理等 ・ 病棟等における薬学的管理等 ・ 事前に取り決めたプロトコールに沿って行う処方された薬剤の投与量の変更等 ・ 薬物療法に関する説明等 ・ 医師への処方提案等の処方支援
当年度の取組目標	・ 上記継続
計画期間終了年度の取組目標	・ 同上

【診療放射線技師】

計画 2024 年時点での取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 撮影部位の確認、検査オーダーの代行入力等 ・ 放射線検査等に関する説明、同意書の受領 ・ 放射線管理区域内での患者誘導
当年度の取組目標	・ 上記継続
計画期間終了年度の取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同上 ・ 血管造影・画像下治療(IVR)における補助行為

【臨床検査技師】

計画 2024 年時点での取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心臓・血管カテーテル検査、治療における直接侵襲を伴わない検査装置の操作 ・ 病棟・外来における採血業務 ・ 生体材料標本、特殊染色標本、免疫染色標本等の所見の報告書の作成
当年度の取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上記継続 ・ 輸血に関する定型的な事項や補足的な説明と同意書の受領
計画期間終了年度の取組目標	・ 同上

【臨床工学技士】

計画 2024 年時点での取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・人工心肺を施行中の患者の血液、補液及び薬剤の投与量の設定及び変更 ・全身麻酔装置の操作 ・各種手術等において術者に器材や医療材料を手渡す行為 ・生命維持管理装置を装着中の患者の移送
当年度の取組目標	・ 上記継続
計画期間終了年度の取組目標	・ 同上

【理学療法士・作業療法士・言語聴覚士】

計画 2024 年時点での取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーションに関する各種書類の記載・説明・書類交付 ・嚥下訓練・摂食機能療法において、患者の嚥下状態に応じた食物形態等の選択
当年度の取組目標	・ 上記継続
計画期間終了年度の取組目標	・ 同上

【医師事務作業補助者・その他職種】

計画 2024 年時点での取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・診療録等の代行入力 ・各種書類の記載 ・医師が診察をする前に、医療機関の定めた定型の問診票等を用いて、診察する医師以外の者が患者の病歴や症状などを聴取する業務 ・日常的に行われる検査に関する定型的な説明、同意書の受領 ・入院時のオリエンテーション ・院内での患者移送・誘導
当年度の取組目標	・ 上記継続
計画期間終了年度の取組目標	・ 同上

(2) 医師の業務の見直し

計画策定時点での取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外来を週 5.5 日→5 日へ縮小（勤務時間 40H へ） ・ 人間ドック受け入れを週 5.5 日→5 日へ縮小 ・ 当直明けの勤務負担の軽減 ・ 外来の機能分化（紹介・逆紹介の活性化） ・ カンファレンスの勤務時間内実施や所要時間の短縮 ・ 病状説明の勤務時間内実施と患者・家族への周知徹底 ・ クリティカルパスの作成等による業務の標準化
当年度の取組目標	同上
計画期間終了年度の取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 診療科ごとの体制ではなく、交代で 1 日当直当たり 2 人体制とし、宿日直しない診療科はオンコール体制とする ・ 宿日直を担う医師の範囲の拡大（短時間勤務医師や中堅以上医師の参画） ・ 複数主治医制の導入 ・ 主治医チーム制の導入 ・ 病院総合医の配置 ・ 研修医の学習環境の向上（経験の見える化による効果的な業務配分等）

(3) その他の勤務環境改善

<p>計画策定時点での取組実績</p>	<p>医師の家庭環境に合わせた勤務体制導入 育休明けの医師に対する勤務調整（当直及び超過勤務の免除）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一部音声入力システムを導入してカルテの一部を自動作成 ・医師が短時間勤務等を希望した場合に受け入れ、活用できる環境がある ・子育て世代の医師が働きやすい環境を整備（短時間勤務、時差出勤、変形労働時間制の導入、宿日直の免除等） ・院内保育所の整備 ・患者相談窓口の設置（クレームを受けた場合のサポート体制の充実）
<p>当年度を取組目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同上 ・ Web 会議 システム、院内グループウェアの活用 ・ 副業・兼業先の労働時間も踏まえた勤怠管理システムの導入
<p>計画期間終了年度を取組目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ スマートフォン等からの電子カルテ閲覧及び入力システム導入 ・ 病児保育・学童保育・介護サービスの整備や利用料補助等 ・ 地域の病院間での機能分化（救急の輪番制の導入等） ・ 診療所の開所日・時間拡大による救急対応の分散 ・ 開業医による病院外来支援 ・ 病院診療所間の双方向の診療支援 ・ 介護、福祉の関係職種との連携等 ・ 職員満足度調査の実施

(4) 副業・兼業を行う医師の労働時間の管理

計画策定時点での取組実績	副業、兼業策への労働時間短縮及び宿日直勤務への協力要請を行った 副業、兼業先の労働時間も踏まえた勤務シフトの管理を行った
当年度の取組目標	同上
計画期間終了年度の取組目標	同上

※本項目は副業・兼業を行う医師がいない場合には記載不要。

(5) C-1 水準を適用する臨床研修医及び専攻医の研修の効率化

臨床研修医および選考委の超過勤務 960H/年対象者はいない